



Dr's Message

いきいき健康術 第107回

町立病院・診療所の医師や専門職員が
健康情報をお届けします。

『気管支喘息』



おた たくし 太田 武志 医師／京丹波町病院小児科(府立医大)

今回は外来をさせていただいている中でよく
出会う病気の一つである気管支喘息についてお
話させていただきます。

そもそも気管支喘息とはどういったものなの
でしょうか？

過去には、気管支が機能的に収縮を繰り返す
病気と考えられていました。現在は、気管支にア
レルギー性の炎症が起こることが主な原因と考
えられています。私自身は気管支喘息について
お話するときは、例えとして肺炎は肺に火事が
起こっている状態で、気管支喘息は気管支にな
かなか消えないボヤがくすぶっている状態とお
伝えします。(あまりうまくない例えかもしれませんが)。

治療方法・期間は症状の程度により異なりま
す。内服薬だけの治療の場合もあれば、吸入ス
テロイドなどの追加治療を必要とする場合もあ
ります。吸入ステロイドの使用方法は、自分で薬
剤を直接吸入する場合と、小さいお子さんはな
かなか自分でうまく吸入ができないことが多い
ので吸入器という機械を使用することが多いで
す。気管支喘息は風邪や気管支炎などのように
短期間治療をして治癒するものではなく、年単
位の治療期間を要する場合もまれではありま
せん。また、いわゆる喘息発作の場合は、入院し

でのステロイドの点滴治療が必要な場合もあ
ります。

気管支喘息は、ゼーゼーしているなどの症状
にご家族が気づかれて受診される場合がありま
す。毎年決まった時期にゼーゼーしたり咳をする
ことが多かったり(咳喘息というものもあります)
ということなどあれば、一度小児科の先生にご相
談されてはいかがでしょうか。



京丹波町病院 小児科予防接種
毎週木曜日／午後1時～2時30分
土曜日／午前10時～11時
(事前申込み制) TEL.(0771)86-0220